



夏見台幼稚園・保育園 ニュースレター 2022.2.25 号

夏見台幼稚園・保育園でのこだわりをニュースレターにまとめます。どうぞご覧ください。
※配信停止の方はメールでどうぞ(info@treponte.jp まで)

〒273-0866 船橋市夏見台 2-16-1 夏見台幼保園

解説: 幼児教育その2「文学表現」

絵本以外の「文学表現」について紹介します。
まず「**テーブル劇**」。子どもが聞いて理解したお話を再現することもありますし、さらに新しい物語を子ども自身が創り出すこともあります。

「**人形劇**」というと何人も人が必要になりますが、テーブル劇はテーブルと演じる人が一人いれば可能です。画用紙に背景を描くだけで準備OK。その前で人形を動かします。



実際の様子が Youtube で視聴できます。「夏見台幼稚園・保育園 おだんごばん」で検索してみてください。有名なロシアの民話です。

劇の途中で挿入される歌は園の先生の手作り。人形も手作り。嬉しさのあまり転げまわる子どもたちの様子がほほえましいです。

人形劇が終わった後にその人形を部屋に飾っておけば、子どもたちの再現遊びが始まります。イメージする力の広がりみられます。

つまり、まず子どもたちにやって見せる。状況を設定してやってあげると、子どもはまねをして自由に始めます。そうこうしているうちに、子どもは新しい物語を創り出すのです。

表現活動には「**テーブル劇**」の他に「**パネ**

ルシアター」「**ペープサート**」「**エプロンシアター**」

もあります。
パネルシアターとは絵本のワンシーンを描いて切り抜いて大きな紙に貼っていきます。

パネルシアターは大人数でも可能です。

ペープサート（正式にはペーパー・パペット・シアター：紙人形劇）

というのは紙に書いた絵をくり抜いて棒にくっつけます。エプロンシアターはエプロンを背景に行う劇です。



「**パネルシアター**」は、白いパネルの上に、絵本のキャラクターなどを貼り付けます。明るい部屋で行いますが、「**ブラックシアター**」というものもあります。部屋を暗くし、「**ブラックライト**」という特殊なライトを使います。七夕の説明にぴったりです。子どもには、こうしたファンタジーを感じさせる素材がいいですね。



南部愛子名誉園長

★子どもの発達段階に合わせた指導

0歳では 絵本というより「**絵カード**」です。写真のカードや本物に近い絵のカードを見せま

す。身近な動物や車などです。赤ちゃんはすぐに口に持って行ってしまいますが。(壁に貼っておいてもいいですね)

1歳から 絵本を読み聞かせます。膝に抱いて一人ずつ読んであげます。一人の子どもに読んでいると一緒に見たいといって他の子どもが近づいてくることがあります。それはそれで対応します。しかし基本は「1対1」。

2歳で 3～4人一緒に見るようになるようになります。同じものを見て同じ場面で喜び合うなどです。共感できる関係ができてきます。

3～5歳では ほとんど全員かあるいはクラスの半分ずつという単位で行います。



発達に合わせた状況を説明しましたが、これは0歳から指導した場合とお考えください。よくお母さん方からの質問で、

「育児本に〇歳くらいで〇〇できる、と書いてあったのですが、うちの子はできません」

というものがあります。育児本には、あくまでも平均的な姿がまとめられています。発達のばらつきは当然、あります。焦らないことです。親の焦りは子どもに伝わります。子どもは育つものです。その子に合わせたペースでゆっくり

と進んでいけばいいのです。

イギリスの小児科医ウィニコット氏は著書の中で、「最高の子育てはお母さん自身が自分に自信を持つこと」と書いています。あまり神経質にならないようよびかけています。

こんなエピソードがあります。

大変お子さんのことに気を配るお母さんがいました。「この子はまだ〇〇なんです!」「この子は大丈夫でしょうか?」。あまりに過剰であったため、安心してもらおうと思っていいました。

「大丈夫。ちゃんとお母さんのように育ちますよ」

するとそのお母さんは、

「あたしみたいじゃダメなんです! この子には…」

と訴えてきました。お母さん自身の自己肯定感が低く、すべての夢を子どもに賭けているかのようです。

とはいっても、最近はインターネット等で情報が氾濫し、子育ての先輩であるおばあちゃんも身近にいないケースも増えています。わからないこと、心配なことはやはり専門家に問い合わせるといいでしょう。幼稚園や保育園以外にも身近に窓口はあるものです。ひとりで悩まないで、ぜひご相談ください。(終)